

# 「税」について考える

税務課 市民税係 ☎0738-23-5504

## 中学生の「税についての作文」

日高納税貯蓄組合連合会、御坊納税協会、御坊税務署は、御坊税務署管内の中学校から「税についての作文」の募集を行い、2,014編の応募がありました。審査の結果、御坊市内から高野杏華さんが、「日高地方租税教育推進協議会 最優秀賞」「公益財団法人納税協会連合会 会長賞」に選ばれました。

日高地方租税教育推進協議会 最優秀賞  
公益財団法人納税協会連合会 会長賞

日高高等学校附属中学校 3年

高野 杏華さん  
たかの きょうか



### 作文紹介

題名 『私達が税について  
関心を持つこと』

納税。そのままの意味で、税を納めるという意味です。なぜ、納税しなければいけないのだろう。税金を納めなくても生きていけるのでは。そう思ったことはありませんか。私は、昔よくそう感じていました。でも、税に関して少し興味を持ち、調べるうちに、税金は、国民一人ひとりが納めるべきだと思いました。

そう思った理由は、まず私たちの生活は税金で成り立っているからです。道路、信号機などです。それは、おそらくほとんどの人が

知っています。私が驚いたのは2つ目の理由です。それは、日本だけでなく世界でも役に立っているということなんです。これが、私達は税金を納めるべきであると思っただけの理由です。世界には、貧しさや食料不足などで、生きていくことさえ難しい人がたくさんいます。日本はその人たちが多くいる国を助けているのです。その人たちを助けるため、お金を貸しているだけでなく、他にも様々な援助をしています。例えば、その国には道路を作る余裕がないとします。すると、その国をできるだけ援助するため、道路を作ったりしてあげます。他にも、病院、その病院で必要とされる薬などを送っています。このような活動を政府開発援助・ODAといい、私たちが納めた税金が使われているということから、私たちが納めた税金のすべてが、私たちの身近にあるものに役立っている訳ではなく、遠くの国にも役立っているということを知りました。税金はこういった人を助ける役割があると感じました。自分たちが何気なく納めている税金が、困っている人々を救えているというところは誇りに思うべきだと思います。

ただ、私は一つ気になることがあります。それは、そういった税金の使い道を決定する人がいるということなんです。その人が、もし不適切な使い道を選んだら大変なことになるからです。最近ではニュースでよく聞きます。そういった人だけのせいでしょうか。そうではないと思います。適切な税金の使い道をしてくれる人を選ぶ権利があるからです。それが選挙です。私は、あと三年後に選挙権を手に入れます。その時、こういったことを考える必要があります。つまり、私たちは、自分たちの生活や世界の人々の生活を支える税金を適切に使用してくれる人を選ばなければいけません。そういった人にまづ関心をもつことが大切です。私は、納税はとも必要であるし欠かせないと思うけれど、納めた税を適切に使用してくれる人を選び、見極めることも大切であると思います。また、そういった見極める力が、私達の中学生に求められているものだと思います。そのためにも、まずはもっと詳しく税金の使い道を勉強して、知識を増やしていきたいです。



▲表彰を受ける高野さん

## 平成28年度「税に関する中学生の標語」優秀作品

日高地方租税教育推進協議会は、税を考える週間(11月11日から17日)の一環として、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。

審査の結果、御坊市内から右記の皆さんが優秀作品に選ばれました。

- つなげよう 支え合いの 税のバトン はなみつほ の か  
河南中学校 2年 花光帆乃華さん
- 知っておこう 税の役目や 使い道 でぐち かける  
河南中学校 3年 出口 翔竜さん
- 税金で 豊かに育つ 私達 おがわ なみ  
湯川中学校 3年 小川 奈巳さん